



岩手ふるさと農協育苗施設（衣川区）

全国平均でガソリンが5割高、軽油が6割高、灯油・重油が2倍を超えるなど高騰し、この影響で農業経営者をはじめとする燃料油使用事業者などから、経営がたちゆかないとの悲鳴が上がっています。福祉施設等への暖房燃料費の助成・農家支援は緊急な課題だと考えますが、考えを伺います。

市長 福祉施設への助成の拡大は考えておりません。農家支援については、岩手ふるさと農協と岩手江刺農協が共同で創設する新たな「農家経営緊急対策特別資金」に対して、市として利子補給、補助をおこなうことになっております。

北上川新橋について



さとう けんじゅ
佐藤 建樹
議員

質問 新幹線駅に結ぶ東西線、新橋構想が岩手県都市計画で白紙となりました。小谷木橋の老朽化、想定外の災害による全面交通止を絶対に回避しなければと、国道397号北上川新橋架橋促進期成同盟会は、2千876筆の署名簿を提出。知事に調査費計上を要望しました。

知事は要望に対し奥州市と協議しながら取り組んでまいりたいと回答いただきました。

国道397号整備促進期成同盟会の会長でもある市長の所見を伺います。

市長 老朽化が著しい小谷木橋は早期架け替えが必要。太平洋側、日本海側の連絡の観点からも、県は小谷木橋の架け替えを優先して取り組む考えがあるとの感触を得ています。

市としてもあらゆる協力を惜しまず、早期実現を推し進めたい。新橋についても、副県都構想から言えば小谷木橋と共に重要案件。市の都市マスタープランに位置付けて実現に努力します。



狭隘による渋滞の小谷木橋

○学校建設について進行状況はの対応と監査方針について



せき しょうこ
関 子
議員

質問 前沢小学校建設について進行状況をお伺い致します。

教育委員長 学校建設に関しては新市建設計画及び新市総合計画に基づいて進めている所です。統合前沢小学校の建設については、白鳥小学校、白山小学校が老朽化して来ており、耐震診断結果においても改修が必要との結果が出てい

る所から、対応が急がれております。平成20年度には地元の皆さんの意見を頂きながら建設場所の決定や基本構想の策定に着手したいと考えている所です。

質問 夕張市の実態を受けて国は、地方の財政運営に関する4項目の決算指標を公表しました。平成20年度決算から本会計と共に病院会計や、土地開発公社等の会計と連結した奥州市全体の決算数値が対象となります。現状と見通しについて市長の考えをお伺い致します。

市長 地方債の発行については、平成に入ってから間もなく当時の自治省が積極的に起債する様指示・指導があり、地方はどんどんそれに向ったという歴史がある。現在とはにかく借金を圧縮していく事が必要と考えている。現在奥州市の財政は国の指標内であります。20年度以降についても指標内となる様財務運営には心がけて行きたいと思っております。

質問 健全化法の指標を超えると再建団体に転落する事となるが、決算数値の信頼性等、監査が重要になって来る所から代表監査委員の方針を伺いたい。

代表監査委員 今まで以上に健全化法の指数を意識しながらしっかりと対応していきたい。